博 士 論 文 概 要

論 文 題 目

大都市の伝統住居密集地域における 居住環境の変容と近代化

- 北京南鑼鼓巷とソウル北村の事例を通して-

Change and Modernization of Dwelling Environment in Densely Built Traditional Residential Area in Metropolis

- A Case Study of Nanluoguxiang, Beijing and Bukchon, Seoul -

申 請 者

李東勲

Donghoon LEE

2015年7月

中国北京と韓国ソウルとを含めた東アジアの大都市には、急速な都市近代化の下、都市人口増加の受け皿として伝統住居密集地域が都市に残っている。これらの地域では、伝統的な住居が維持されると共に生活空間を社会的な変化と周辺環境に適応させるための変容や更新が起きている。これは都市において維持と更新が繰り返される持続再生可能な居住環境計画への展開が期待できる。

都市に残った伝統住居密集地域は近代化の間に形態・機能の変容が起きたため、その歴史的な価値が認められずに伝統住居の解体と再整備が進められた。しかしグローバル化する現代社会においてその地域の存在がローカリティを生む要因となっていること、歴史的建造物の活用への社会的関心が高まっていることから都市に残った伝統住居密集地域の再評価が必要である。建築計画において、都市に残った伝統住居地域で起きる現象を理解し、伝統住居の維持と生活環境の更新との相互関係が反映された都市居住環境の持続と再生の在り方について再考が必要と考えた。

本論文は、近代化の間に都市に残った伝統住居が密集する地域として既存の住居環境を元に多様な都市機能・住居形態が共存する北京の南鑼鼓巷(ナンロウグウシャン)とソウルの北村(ブックチョン)を選定し、変容に伴う利用実態を調査している。また伝統住居地域の変容と維持に影響を与える要素として都市コンテクストである街路体系に着目し、利用実態との関係性を分析する。近代化の過程で都市に残った伝統住居密集地域が如何にして社会的・経済的な変動に対して柔軟に適応しながらも変わらない秩序を保っているか、その組織化の特徴を明らかにする。

北京とソウルに残った伝統住居密集地域を比較すると、韓屋や四合院と呼ばれる異なる住居様式や都市コンテクストが存在している。しかし両地域は建築制限の下で伝統住居を管理する一方で、観光地化や商業化のような外部資本を導入し、地域を再生するなど、歴史のある住居地が都市の公共空間として作用している共通点がある。そこで本研究は、様態の異なる2都市の分析を通して特殊な事例に留まらず伝統住居地域の都市居住環境としての利用実態と、都市のコンテクストと建築の関係を明らかにし、地域持続再生の可能性を考察する。

本論文の構成は、序論2章、本論4章、結論1章で構成されている。

序論では、本研究を進めるにあたっての研究背景と目的を述べている。それは近代化の過程で社会的・経済的な影響を受け入れながら持続している伝統住居地域の新たな価値と再認識の必要性を示すものである。その上で、本研究と関連があるアジア伝統住居群の特徴、北京とソウルに残った伝統住居地域の変容と維持に関する既往研究を元に論点を整理し、本研究の位置づけを明示している。

第2章では、都市に残った伝統住居地域を歴史的環境の要素として捉え、文献 及び事例をもとに都市における歴史的環境の概念を整理し、その意義についてま とめている。また研究方法として都市組織の概念より分析要素を選定し、街路体 系と建築との相互関係性を取り上げ、分析方法として用いたスペースシンタックス理論と分析指標についてまとめている。以上2章までを序論としている。

本論として第3章では、北京とソウルの成立と変遷より伝統住居密集地域の背景として歴史的・地理的な都市コンテクストと伝統住居地域との関係を整理している。その背景より、研究対象が良質の伝統住宅地域として都市コンテクストとの関係を現在まで維持していること、近代化の過程で残るようなった立地的・社会的な条件を究明している。また近代化の過程で北京とソウルの伝統住居地域に見られる変化の種類と特徴について述べている。

第4章では、北京・南鑼鼓巷の四合院密集地域を対象とした実態調査より、(1) 四合院の変容類型と街路との関係、(2)四合院の空間構成と街路との関係に伴う 四合院地域の変容と維持について分析、考察を行っている。

- (1)では、四合院 34 棟の実測調査をもとに変容の類型と原因を整理している。四合院の変容原因として複数世帯の共同生活と増築物による雑院化と街路整備事業後の商業化を取り上げ、変容による住居環境の実態と傾向を分析している。四合院地域は都市構造との関係より東西方向と南北方向に設置された性質と規模が異なる2種類の胡同が街区を構成していることに着目し、胡同の方向性ごとに四合院の変容類型の分布と程度が異なることを明らかにしている。また四合院の変容過程で胡同の方向性ごとに街路の機能と性格が分離される関係を通して南鑼鼓巷における住宅街の維持と商業街の形成を考察している。
- (2)では、四合院が南向きの住居配置を維持ために発生する住居空間構成と 胡同の方向性の関係性に着目している。東西方向の胡同が南北方向より四合院利 用との緊密な関係を誘発し、東西方向の胡同が雑院化による変容、南北方向の胡 同が雑院化と商業化による変容を受けやすいという異なる街路特徴を持っている。 一方で四合院の住居構成と胡同の関係性が明確な東西方向に位置する四合院は、 変容の程度が低く、相対的に本来の空間性を維持する傾向があることを明らかに している。以上の調査・分析より、南鑼鼓巷における四合院地域の組織化には、 胡同の方向性と住居の空間構成による街路体系が四合院地域の変容と維持に影響 を与え、住民の居住環境を保ちながら新しい都市機能の受容と共に四合院が回復 される関係性が内在していることを提示している。またその変容過程によって街 路に表出される要素を抽出し、街路環境の変化と特徴を評価している。
- 5章では、ソウル・北村の韓屋密集地域を対象とした変化過程調査より、(1) 街路体系の変化に伴う伝統住居密集地域の特性、(2)街路体系が伝統住居密集地域の利用変化に与える影響と多様性について分析、考察を行っている。
- (1)では、北村に 1930年以前の街路、1930年代から 1960年代における都市型韓屋地の街路増設及び 1980年代以降街路整備による特徴が異なる街路体系が混在することに着目し、街路増設の時期ごとに街路空間構造を分析している。 北村地域は 1990年代まで都市型韓屋が密集する街路の接近性が高く示されたが、

1990年代以降は住居地周辺街路の接近性が高く示される一方、住居地内の街路が局部的な範囲で接近性が高く示される変化とその原因を明らかにしている。また街路体系の変化が伝統住居密集地域において社会的・経済的な影響を受けやすい街路空間の位置を変化させる関係があることを提示している。すなわち街路体系に伴う街路空間構造分析を通して北村では、1990年代まで接近性が良好な住居地域が、1990年以降外部からは接近性が不明瞭となるが、住居地域内での移動性が良好である住居地域に変化するなど北村の地域的な特性を明らかにしている。

(2)では街路空間構造の特徴と建物の利用変化との関係に着目し、建て替えと用途転換が起きた建物が分布する街路と街路空間構造との相互関係を分析している。北村では、異なる街路体系の混在によって形成される街路空間構造が建て替えと用途転換が起きやすい街路を分離するように影響を与えることを明らかにしている。またその相互関係は、北村において伝統住居の維持と共に用途転換による都市機能と建て替えによる新しい住居類型の共存を可能にする要因であることを究明し、街路体系が変容と維持という現象において持つ役割を考察している。さらに北村における建築規制、住居地域利用及び街路空間構造の変化を時期別に比較・考察し、伝統住居密集地域が変容と維持を通して社会的・経済的な変動に適応するための組織化の特徴とそこに内在する街路体系の意義をまとめている。

第6章では、北京とソウルに見られる伝統住居密集地域の維持と更新について街路体系の特徴を用いて比較・考察している。近代以前に生成された都市構造によって北京とソウルの都市構造や住居類型の形態が異なるが、北京の街路体系と住居類型の規則性及びソウルの街路体系の変化のような要因によって街路体系の特徴が多様化する共通点があることを指摘している。更に街路体系の多様化は、近代化の間に都市に残った伝統住居密集地域のなかで影響を受けやすい街路と受けにくい街路の位置関係が分離することで維持と更新に影響を与える普遍的な秩序であることを考察している。その考察を元に都市居住環境として地域持続再生における街路体系の役割について述べている。

第7章では結論として、各章の概要をまとめた上で、都市組織と街路体系の特徴が都市住居環境形成への示唆を展望として論文全体をまとめとしている。

早稲田大学 博士(建築学)学位申請 研究業績書

氏名 李 東勲 印

(2016年2月10日現在)

	(2016年2月10日現在)
種 類 別	題名、発表・発行掲載誌名、発表・発行年月、連名者(申請者含む)
○論文	Study on the Role of Outdoor Space by the Analysis of Extended House and Furniture in High-Density village, 'Zhuzifang', China, 大韓建築学会論文集 計画系 v.27 n.1, No. 267, pp173-182, 2011.01 掲載, Lee, donghoon
○論文	四合院の変容が歴史環境に与える影響に関する研究-中国,北京市の南鑼鼓巷地区を事例として, 日本建築学会計画系論文集,No. 680 号,pp. 2293-2301, 2012.10 掲載,李東勲・古谷誠章
○論文	韓国、ソウル市の北村における街路空間構造が伝統住居密集地域の変化に与える影響に 関する研究,日本建築学会計画系論文集 No. 709, pp. 527~536, 2015.3 掲載,李東勲・古 谷誠章
講演	5546 中国・北京における胡同の保護と更新にみる都市空間の多様性(その 1), 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-2 分冊, pp43-44, 2011.07, 竹味佑人・稲垣淳哉・日詰博文・李東勲・川嶋貫介・山田浩史・古谷誠章
講演	5546 中国・北京における胡同の保護と更新にみる都市空間の多様性(その 2), 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-2 分冊, pp45-46, 2011.07, 稲垣淳哉・竹味佑人・日詰博文・李東勲・川嶋貫介・山田浩史・古谷誠章
その他 (講演)	奄美群島徳之島における集落構成と空間運営の研究(その1):集落及び住居構成にそな わる環境特性,日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊,pp1051-1052, 2014.09, 稲 垣淳哉・山下唯・李東勲・日詰博文・竹味佑人・古谷誠章
その他 (講演)	奄美群島徳之島における集落構成と空間運営の研究(その 2):環境調整の仕組みから見る活動形態の比較を通して、日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊, pp1053-1054, 2014.09, 山下唯・稲垣淳哉・李東勲・竹味佑人・日詰博文・古谷誠章
○その他 (講演)	14103 商品化住宅に向けた環境配慮住居のプロトタイプとその標準仕様に関するプロジェクト研究,日本建築学会大会学術講演梗概集 G-1 分冊, pp206-207, 2014.09, 李東勲・菅野正太郎・太原豊・古谷誠章
その他 (講演)	Nobi-Nobi HOUSE 重ね着するすまい:その1:背景と建築概要,日本建築学会大会学術講演梗概集 G-1分冊,pp96-97,2014.09,海野玄陽・菅野正太郎・田辺新一・古谷誠章・長澤夏子・李東勲・渡辺直哉・遠藤えりか
その他 (講演)	Nobi-Nobi HOUSE 重ね着するすまい: その2: 提案住宅の特徴,日本建築学会大会学術講演梗概集 G-1 分冊,pp96-97,2014.09,菅野正太郎(早稲田大)・海野玄陽・田辺新一・古谷誠章・長澤夏子・李東勲・渡辺直哉・遠藤えりか

早稲田大学 博士 (建築学) 学位申請 研究業績書

種 類 別	題名、発表・発行掲載誌名、発表・発行年月、連名者(申請者含む)
程 類 が ○その他	5708 タイ高床式住居にみる集落空間の変容と持続性:水系集落 Hua Wiang を事例として
(講演)	その1,日本建築学会大会学術講演梗概集(建築計画),pp1439-1440,2013.08,李東勲・高橋亨平・福岡あかり・日詰博文・稲垣淳哉・川嶋勘介・古谷誠章
その他 (講演)	5709 タイ高床式住居にみる集落空間の変容と持続性: 水系集落 Hua Wiang を事例として その 2, 日本建築学会大会学術講演梗概集 2013(建築計画), pp1441-1442, 2013.08, 福岡あかり・李東勲・高橋亨平・日詰博文・稲垣淳哉・川嶋勘介・古谷誠章
その他 (講演)	5468 東北地方太平洋沿岸地域における伝承表現と集落構成研究: 岩手県田野畑村の津波減災から(その1)日本建築学会大会学術講演梗概集 2013(建築計画), pp959-960, 2013.08, 高松めい・加藤聖也・稲垣淳哉・李東勲・日詰博文・川嶋貫介・古谷誠章
その他 (講演)	5469 東北地方太平洋沿岸地域における伝承表現と集落構成研究: 岩手県田野畑村の津波減災から(その2), 日本建築学会大会学術講演梗概集 2013(建築計画), pp961-962, 2013.08,加藤聖也・高松めい・稲垣淳哉・李東勲・日詰博文・川嶋貫介・古谷誠章
その他 (講演)	5067 診療科別適性待合空間研究:行為と場の指向性に見通し度が及ぼす影響に対する横断的評価,日本建築学会大会学術講演梗概集 2013(建築計画),pp157-158, 2013.08,深浦将太・桂悠花・大森葉月・李東勲・古谷誠章
その他 (講演)	5070 回復期リハビリテーション病院における見通し度の医療的効果について,日本建築学会大会学術講演梗概集 2013(建築計画),pp163-164,2013.08,小竹海広・李東勲・古谷誠章
その他 (講演)	14029 病院におけるこれからの外来部門の構成と待合空間の提案: その2: スタッフと患者の共有空間の創出,日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集,pp58-59,2013.08,桂悠花・山口舞・符珊珊・大森葉月・斎藤 信吾・李東勲・古谷誠章・松村正人・恒川真一・三橋啓史
その他 (講演)	14093 地域の核としての次世代型市庁舎提案 : U 市新庁舎の計画案を通して,日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集,pp186-187,2013.08,久我淳子・青沼克哉・稲葉秀行・内田安里紗・武井光・福井貴英・李東勲・古谷誠章・杉下浩平
その他 (講演)	5553 風水により形成された集落形態と空間特性に関する研究: -中国兪源村における風環境と住環境の調査を通して その 1, 日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(建築計画), pp1147-1147, 2012.09, 符珊珊・福井貴英・稲垣淳哉・李東勲・日詰博文・川嶋貫介・古谷誠章
その他 (講演)	5554 風水により形成された集落形態と空間特性に関する研究: 中国兪源村における風環境と住環境の調査を通して その 2, 日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(建築計画), pp1149-1150, 2012.09, 福井貴英・符珊珊・稲垣淳哉・李東勲・日詰博文・川嶋貫介・古谷誠章

早稲田大学 博士 (建築学) 学位申請 研究業績書

種 類 別	題名、発表・発行掲載誌名、発表・発行年月、連名者(申請者含む)
○その他(講演)	14049 都市密集地における都市型環境配慮住宅の提案: その1 基本計画,日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(建築デザイン),pp98-99,2012.09、李東勲・海野賢・志村卓馬・濱崎紘嗣・竹味佑人・及川輝・薮内文恵・遠藤えりか・柏原誠一・築山祐子・古谷誠章・田辺新一
その他 (講演)	14050 都市密集地における都市型環境配慮住宅の提案: その2 シミュレーション解析, 日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(建築デザイン), pp100-101, 2012.09, 海野賢・李東勲・志村卓馬・濱崎紘嗣・竹味佑人・及川輝・薮内文恵・遠藤えりか・柏原誠一・築山祐子・古谷誠章・田辺新一
その他 (講演)	41240都市型環境配慮住宅における暖冷房負荷削減手法の検討: その1基本プランと日照・通風シミュレーション,日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(環境工学 II),pp479-480,2012.09,築山祐子・濱崎紘嗣・田辺新一・遠藤えりか・古谷誠章・李東勲・志村卓馬・小林裕・海野賢・柏原誠一
その他 (講演)	41241 都市型環境配慮住宅における暖冷房負荷削減手法の検討: その2 暖冷房負荷と温熱環境,日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(環境工学 II), pp481-482, 2012.09, 濱崎紘嗣・築山祐子・田辺新一・遠藤えりか・古谷誠章・李東勲・志村卓馬・小林裕・海野賢・柏原誠一
その他 (講演)	14019 田野畑村の集落再生候補地における公営住宅の計画と配置検討,日本建築学会大会学術講演梗概集 2012(建築デザイン),pp38-39,2012.09,竹花洋子・李東勲・三宅愉・吉田道郎・古谷誠章
その他 (講演)	5597 中国延安市靠山式窰洞における近代化による空間構成の変容 その 1,2010 年、日本建築学会大会学術講演梗概集 E-2 分冊,pp1-2,2010.07,荻野彰大・松井美奈歩・稲垣淳哉・中村航・李東勲・日詰博文・古谷誠章
その他 (講演)	5597 中国延安市靠山式窰洞における近代化による空間構成の変容 その 2, 2010 年、日本建築学会大会学術講演梗概集 E-2 分冊, pp3-4, 2010.07, 松井美奈歩・荻野彰大・稲垣淳哉・中村航・李東勲・古谷誠章・日詰博文
その他 (講演)	14170 壁の操作によって生まれる関係性の設計: 韓国ソウル郊外の週末住宅,日本建築学会大会学術講演梗概集 G-1 分冊, pp340-341, 2010.07, 尹敏煥・李東勲・朴敬熙.
○その他 (講演)	14023 プログラム複合によるファッションミュージアムタワー 高密度都市における高層高複合建築に関する設計,日本建築学会大会学術講演梗概集 G-1 分冊, p46-47, 2010.07,李東勲・日詰博文・田辺綾花・狩野広行
その他 (講演)	6122 下沈式窰洞住居の空間構成と地上部の役割に関する研究: 中国河南省三門峡市陜県を事例としてその1,日本建築学会大会学術講演梗概集 E-2 分冊,pp641-642,2009.07,伊坂春・稲垣淳哉・李東勲・日詰博文・古谷誠章その他9件